

2014年度事業報告書  
2014年4月1日から2015年3月31日まで

事業名・事項	実施状況																																
<b>I 事業の実施</b> <b>1. セミナー・研修事業</b>	<p>(1) 公開セミナー</p> <p>①有料公開セミナー</p> <p>ア. 女性活躍推進分野</p> <p>「数値目標を活用した女性の活躍推進セミナー」を初めて開催した他、「女性のためのキャリアアップセミナー」は、出産・育児などのライフイベントを前に今後のキャリア展望に不安を持ちがちな30歳までの女性を対象を絞り、内容を充実させて実施。「女性のためのリーダーシップセミナー」は、岩田会長によるロールモデル講演を行い、講師による理論編に実践編を加え内容を充実させて実施。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">テーマ</th> <th style="text-align: right;">実施回数 (人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・女性のためのリーダーシップセミナー</td> <td style="text-align: right;">1回 (15人)</td> </tr> <tr> <td>・若手女性のためのキャリアアップセミナー</td> <td style="text-align: right;">2回 (50人)</td> </tr> <tr> <td>・数値目標を活用した女性の活躍推進</td> <td style="text-align: right;">1回 (20人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">合計 4回 (85人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ. ハラスメント防止関連分野</p> <p>ハラスメント防止関連セミナーについては、首都圏を重点的に、また、駐在代表が配置され協力が得られる府県で実施</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">テーマ</th> <th style="text-align: right;">実施回数 (人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・セクハラ・パワハラ相談担当者</td> <td style="text-align: right;">12回 (570人)</td> </tr> <tr> <td>・職場におけるパワハラ防止と指導</td> <td style="text-align: right;">2回 (75人)</td> </tr> <tr> <td>・ハラスメント (基礎編)</td> <td style="text-align: right;">2回 (34人)</td> </tr> <tr> <td>・キャンパスハラスメント防止</td> <td style="text-align: right;">2回 (48人)</td> </tr> <tr> <td>・ハラスメント (アドバンス編)</td> <td style="text-align: right;">1回 (36人)</td> </tr> <tr> <td>・ハラスメント事案解決法</td> <td style="text-align: right;">1回 (16人)</td> </tr> <tr> <td>・パワハラ防止のためのアンガーマネジメント</td> <td style="text-align: right;">4回 (74人)</td> </tr> <tr> <td>・ハラスメント相談・実践対応力養成講座</td> <td style="text-align: right;">3回 (86人)</td> </tr> <tr> <td>・ハラスメント防止とメンタルヘルス対策</td> <td style="text-align: right;">1回 (16人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">合計 28回 (955人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②無料セミナー</p> <p>女性活躍推進を目的としたオーダーメイド研修の新規開拓を図るため、無料体験セミナーを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児をしながら働く社員の活躍推進 <span style="float: right;">1回 (52人)</span></li> </ul> <p>(2) オーダーメイド研修</p> <p>①女性活躍推進分野</p> <p>顧客の実態や課題を十分に把握し、要望に応じた研修を実施。女性活躍推進への関心の高まりから、受注回数が増加。</p>	テーマ	実施回数 (人数)	・女性のためのリーダーシップセミナー	1回 (15人)	・若手女性のためのキャリアアップセミナー	2回 (50人)	・数値目標を活用した女性の活躍推進	1回 (20人)		合計 4回 (85人)	テーマ	実施回数 (人数)	・セクハラ・パワハラ相談担当者	12回 (570人)	・職場におけるパワハラ防止と指導	2回 (75人)	・ハラスメント (基礎編)	2回 (34人)	・キャンパスハラスメント防止	2回 (48人)	・ハラスメント (アドバンス編)	1回 (36人)	・ハラスメント事案解決法	1回 (16人)	・パワハラ防止のためのアンガーマネジメント	4回 (74人)	・ハラスメント相談・実践対応力養成講座	3回 (86人)	・ハラスメント防止とメンタルヘルス対策	1回 (16人)		合計 28回 (955人)
テーマ	実施回数 (人数)																																
・女性のためのリーダーシップセミナー	1回 (15人)																																
・若手女性のためのキャリアアップセミナー	2回 (50人)																																
・数値目標を活用した女性の活躍推進	1回 (20人)																																
	合計 4回 (85人)																																
テーマ	実施回数 (人数)																																
・セクハラ・パワハラ相談担当者	12回 (570人)																																
・職場におけるパワハラ防止と指導	2回 (75人)																																
・ハラスメント (基礎編)	2回 (34人)																																
・キャンパスハラスメント防止	2回 (48人)																																
・ハラスメント (アドバンス編)	1回 (36人)																																
・ハラスメント事案解決法	1回 (16人)																																
・パワハラ防止のためのアンガーマネジメント	4回 (74人)																																
・ハラスメント相談・実践対応力養成講座	3回 (86人)																																
・ハラスメント防止とメンタルヘルス対策	1回 (16人)																																
	合計 28回 (955人)																																

テーマ	実施回数
・女性の活躍推進（ダイバーシティ）セミナー	57回
・女性活躍推進／ワーク・ライフ・バランス講演	1回
・ワーク・ライフ・バランス研修	18回
・女性のリーダーシップ研修	26回
・女性のキャリアアップ研修	29回
・産休・育休者、職場復帰者研修	23回
・女性の部下を持つ管理職研修	32回
・メンター・メンティ研修	14回
・コミュニケーション研修	1回
・ビジネスパーソンコーチング	8回
・モチベーションマネジメント研修	4回
・育児をしながら働く社員を部下に持つ管理職研修	1回
	合計 214回

## ②ハラスメント防止関連分野

ア. 職場におけるいじめ・嫌がらせ問題が急増していることから、パワーハラスメントに比重を置いた研修が増加した。また、相談担当者研修など付加価値の高い内容を望む声も増加しており、カリキュラムの工夫や事例集DVDを作成し高度化する要望に対応した。

テーマ	実施回数
・セクハラ・パワハラ防止従業員研修	368回
・セクハラ防止従業員研修	134回
・パワハラ防止従業員研修	142回
・ハラスメント相談担当者研修	22回
・キャンパスハラスメント防止研修	38回
・メンタルヘルス従業員研修	12回
・職場のハラスメントとメンタルヘルス対策について	10回
・アンガーマネジメント研修	7回
	合計 733回

イ. ハラスメント研修講師育成については、プレゼンテーション力アップを実践的に学ぶ講師のための研修会を開催

・セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント防止研修講師のための研修会 1回

## (3) 女性活躍サポート・フォーラム

女性の活躍推進に積極的な企業を支援するための会員制プログラム「女性活躍サポート・フォーラム」を運営し、情報の提供、企業における人事担当者や女性社員を対象とした研修及び女性社員の社外ネットワークの構築等の事業を首都圏、関西圏で実施。会員企業は、積極的な勧誘により、2014年度末で昨年度比21社増の87社。

テーマ	実施回数
・女性のためのエンパワーメント21世紀塾	19回
・女性管理職研修	3回
・女性活躍推進責任者会議	11回

合計 33回

(4) 女性部長のための Next Step Forum

参加者が将来的に執行役員以上を目指せるよう、経営を担う意欲・意思を持つと同時に、異業種同等レベルの女性とのネットワーク構築し相互に成長できる講座・環境を提供。20社20名が参加した中から、今春執行役員3名、定席監査役1名が誕生。

テーマ	実施回数
・リーダーシップの基本と経営戦略、ネットワーキング	1回(合宿)
・企業経営者の講話とディスカッション	7回
・女性役員を囲んでの座談会/ディスカッション	1回
	合計 9回

(5) セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント防止コンサルタント養成・認定

セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント防止のための教育・研修を行うことのできる人材を養成するため、講座を開催するとともに、一定レベル以上の知識を問う試験を実施

・養成講座受講者	155人
・認定試験受験者	203人
・コンサルタント登録者	64人

併せて、認定登録更新を希望するコンサルタント105人に対し、フォローアップ研修を東京・大阪で実施。

(6) 働く女性の交流会

働く女性の働く女性のロールモデルとなるパネリストを迎え、成長を実感できた経験、管理職や役員の醍醐味、アドバイス等をテーマとするパネルディスカッション及び参加者との懇親会からなる交流会を、下記4か所で実施し、働く女性の意欲向上やネットワークづくりを支援。

東京	実施回数	1回(参加人数188人)
大阪	実施回数	1回(参加人数211人)
三重	実施回数	1回(参加人数153人)
北九州	実施回数	1回(参加人数120人)

2. 相談・助言事業

(1) コンサルティング事業

①女性活躍推進分野

女性活躍を進めたいが課題や効果的方策がわからない企業に対し、インタビュー調査・WEBアンケート調査等による実態把握や課題分析を行うとともに、課題解決の効果的方策や具体的実施事項についてのコンサルティングを行う「女性活躍推進コンサルティング事業」を新たに開始し、ホームページ、メール情報、DM、ちらし配布等により周知。6社受注。

②[新規事業開始の準備]ハラスメント防止関連分野

<p>3. 調査研究・情報提供事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント実態調査 2社（3回）</li> </ul> <p>（2）職場におけるハラスメント等相談事業 相談窓口事業の広報チラシを新たに作成し、人事労務担当者対象のセミナーや中小企業団体主催の研修会など機会を捉えて広報を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口契約件数 89件 （内グループ会社での契約 5件）</li> <li>・ハラスメント事案に対する専門家の相談・助言 11件</li> <li>・事実確認のためのヒアリング調査 ヒアリング対象者 8人</li> </ul> <p>（1）調査研究 入社時に非常に優秀であった若手女性社員の育成に課題を持つ企業が多いことから、若手女性社員が男性と同様にモチベーション高く能力形成し、キャリアの展望を描くことができるようにするための企業側の対策、上司のマネジメント、女性社員への働きかけのあり方を検討するために、「若手女性社員の育成とマネジメントに関する調査研究」を実施し、報告書を取りまとめ。</p> <p>（2）女性活躍推進関係セミナーのコンテンツ開発 学識研究者に執筆を依頼する等により、女性のためのリーダーシップセミナー及び女性のためのキャリアアップセミナーのコンテンツを開発。</p> <p>（3）図書等の開発・作成・販売</p> <p>①女性活躍推進分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍「男女雇用機会均等法」について、法改正に伴う変更箇所を小冊子にまとめ、書籍に付属して販売。</li> <li>・「女性労働の分析 2013年」 1,700冊</li> </ul> <p>②ハラスメント防止関連分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関・介護施設におけるハラスメント防止研究会の委員の選出と研究会の開催を実施。啓発小冊子の原稿を作成中  <ul style="list-style-type: none"> <li>専門家 7名</li> <li>研究会 3回実施</li> </ul> </li> <li>・新規作成（ハラスメント防止のための図書等） <ul style="list-style-type: none"> <li>1)「増補版Ⅱわかりやすいセクシュアルハラスメント裁判例集」6月刊行 2,000冊</li> <li>2)DVD「完全版 相談担当者必見!! 専門家から学ぶハラスメント対応」10月刊行 320本</li> </ul> </li> <li>・男女雇用機会均等法の改正に合わせ、既存の図書の内容を改訂 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)テキスト「新・職場におけるセクシュアルハラスメント防止のために」6,000冊</li> <li>2)テキスト「新・相談対応マニュアル」5,000冊</li> </ul> </li> <li>・既存の図書の増刷</li> </ul>
-----------------------	--

<p>II 財団の運営</p>	<p>1) テキスト「職場におけるパワーハラスメント防止のために」 10,000 冊  2) テキスト「パワハラって何？」 5,000 冊  3) テキスト「パワハラにならない指導とは」 6,500 冊  4) ポスター「無意識にやっているこんなこと」(大) 2,000 枚  5) ポスター「思わずやっているこんなこと」(大) 2,000 枚  6) ポスター「無意識にやっているこんなこと」(小) 2,000 枚  7) DVD「“どう叱る” “どう育てる” パワーハラスメントにならない指導のポイント」 300 本</p> <p>・その他</p> <p>1) 英語テキスト「新・職場におけるセクシュアルハラスメント防止のために」 43 冊  2) 英語版テキスト「職場におけるパワーハラスメント防止のために」 23 冊</p> <p>1. 公益財団法人としてのガバナンスの安定</p> <p>(1) 公益財団法人としての業務運営基盤の確立</p> <p>① 法令に則った理事会・評議員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会 (4/11、6/10、6/27、10/14、1/23、3/19) 6 回</li> <li>・評議員会 (6/10、3/19) 2 回</li> </ul> <p>② 公益法人会計 20 年度基準に則した財務諸表の作成</p> <p>③ 個人情報・機密情報の適切な管理及び全部署(関西事務所は 2 回)への内部監査の実施</p> <p>2. 財務基盤、人的基盤の強化</p> <p>(1) 賛助会員へのサービス向上により新規会員の獲得を図る</p> <p>① 広報誌「ダイバーシティ 21」を通して賛助会員へアンケート実施、ニーズの高い情報提供につとめた。</p> <p>② 東海地方、関西地方の賛助会員あてに地方限定版の E メール情報を配信 (2 回)</p> <p>③ 2013 年度一般寄付金寄付者に対して賛助会員入会を案内</p> <p>④ 新規賛助会員 19 件 23 口 (法人 12 件、個人 7 件)  賛助会員 年間目標額 3,142 万円 3,167 万円</p> <p>(2) 資産運用による利息収入 700 万円</p> <p>(3) 駐在代表制度の活性化</p> <p>① 新たな駐在代表として、元参与 4 名を駐在代表に (首都圏 2 名、富山、長野各 1 名)。また、新たに 1 名の駐在代表 (三重) を配置し人数の増加を図った。</p> <p>② 20 名 21 道県の体制で財団事業の取り次ぎ及び広報活動の活性化を図った</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団事業の取り次ぎ実績 11 件</li> <li>・受託事業セミナーでの当日協力</li> </ul> <p>(4) 戦略的広報の実現</p> <p>① 広報会議を実施し、効果的な情報発信を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞 18 件、テレビ 2 件、その他雑誌等 40 件</li> </ul> <p>② ホームページのアクセス数アップに向けて、トップページのリニュー</p>
-----------------	--

<p>Ⅲ 働きやすい職場環境形成事業（周知・広報分） （2014年度 厚生労働省委託事業）</p>	<p>ーアルを実施。</p> <p>③新たな広報手段として、日経 BP 社の DM を活用（10/2・3 開催の女性リーダー育成セミナー分）。</p> <p>④ハラスメント関連では、事業内容がわかりやすいデザインに重点を置きリーフレットを作成。セミナー等で配布を行った。</p> <p>⑤外務省関連サイト（Shine Weeks@Facebook、WAW!Tokyo2014 等）での広報</p> <p>⑥東京都等が開催する各種イベントの後援（「ワークライフバランスフェスタ 2015」等）</p> <p>（5）業務の効率化の推進・生産性の向上</p> <p>①サイボウズ業務システムの導入</p> <p>②年休取得率：平均 82%</p> <p>（6）職員の専門性の向上</p> <p>①職員研修制度基準を改定し、より利用しやすいものとした利用者 2 名</p> <p>②職員研修の実施 4 回</p> <p>③専門性を高めるセミナー等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災管理者講習 1 名</li> <li>・人事給与関係セミナー 2 名（4 回）</li> <li>・公益法人関係セミナー 2 名</li> </ul> <p>（7）働きやすい職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ES 調査の実施</li> <li>・フレックス制度導入</li> <li>・関西事務所の床面積の拡大</li> <li>・インフルエンザ予防接種の助成（利用者 8 名）</li> <li>・健康診断再検査の受診の促進</li> <li>・防災訓練の実施</li> <li>・本部事務室内クリーンデーの実施（2 回）</li> </ul> <p>1. 幅広い国民各層向けの周知・広報</p> <p>①ポスター・リーフレット及びパンフレットの作成・広報</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>ポスター</td> <td style="text-align: right;">10,000 部</td> </tr> <tr> <td>リーフレット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ア労使の担当者向け</td> <td style="text-align: right;">181,000 部</td> </tr> <tr> <td>イ労働者向け</td> <td style="text-align: right;">39,000 部</td> </tr> <tr> <td>パンフレット</td> <td style="text-align: right;">120,000 部</td> </tr> </table> <p>都道府県労働局、監督署、ハローワーク及び関係団体等に配布し広報に務めた。また、ポスターについては、全国の鉄道主要駅等 1,000 余所に掲示</p> <p>②ポータルサイトの改修、運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 回にわたり委員会を実施し、サイトのコンテンツ内容等につき検討を行った</li> <li>・新規コンテンツの作成・掲載</li> </ul>	ポスター	10,000 部	リーフレット		ア労使の担当者向け	181,000 部	イ労働者向け	39,000 部	パンフレット	120,000 部
ポスター	10,000 部										
リーフレット											
ア労使の担当者向け	181,000 部										
イ労働者向け	39,000 部										
パンフレット	120,000 部										

- ・動画 3～5分程度 3編6シーン
- ・パワーハラスメント対策Q&A
- ・職場のパワハラ 予防・解決のための取組みリスト
- ・社内研修用資料 一般職員向け・管理職向けレジメ2種
- ・サイトの広報
- ・Yahooトップページにバナー広告を掲載
- ・チラシの作成・配付 50,000部

### ③雑誌への記事掲載

ア経営者・人事担当者向け記事を2回にわたり掲載

- ・週刊東洋経済
- ・週刊ダイヤモンド

イ一般労働者向け記事を2回にわたり掲載

- ・週刊新潮

## 2. 労使の取組の支援するセミナーの実施

各都道府県において1回2時間で48回実施

集客総数2,363人 各都道府県当たり平均50.3人

アンケート調査結果

- ・内容について「満足」「やや満足」が92%
- ・グループワークについて「有意義」が72%
- ・パワハラ対策の重要性について「よく理解」「やや理解」が98%